

# 子ども・子育て支援

## 子育て世帯の負担を軽減

**子育て世帯の医療費を助成** 拡充  
67億6,900万円

4月から通院医療費の助成対象を中学生までに拡大。また、8月から住民税非課税のひとり親家庭の親の通院医療費を助成します。



**第2子以降の保育料を無料に** 拡充  
4億6,000万円

4月から世帯年取や兄弟姉妹の年齢の差に関係なく、2人目以降の子どもの保育料を無料にします。

※認可保育所、認定こども園（保育所部分）、地域型保育事業所が対象



## 教育・保育の環境整備

**学校・保育施設の冷房設備を整備** 拡充  
15億1,300万円

子どもが快適に過ごせるように、市立の小中学校・高校などの教室にエアコンの設置を進めます。また、私立保育所などが冷房設備を導入する費用を補助します。



## 見守り体制を万全に

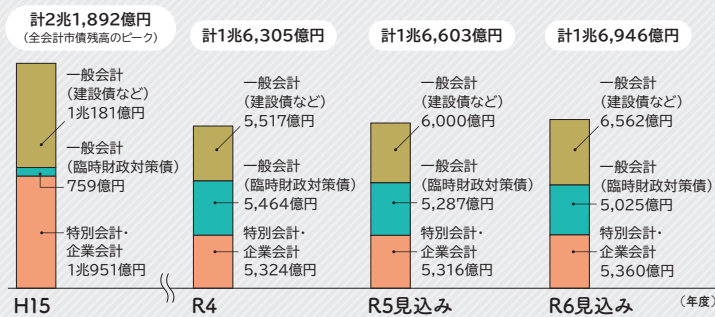
**いじめ対策を強化** 拡充  
4億4,100万円

スクールカウンセラーの小学校への配置時間を倍増するほか、子どもの悩み事や困り事を早期に把握するために、市立の小中学校・高校などの子どもが1人1台持つタブレット端末に、アプリ「心の健康観察」を導入。毎日の健康状態の確認を行います。

## 市債の状況

市の借金である市債の残高は、建設債の増加などにより、前年度よりも増える見込みです。引き続き、将来に過度な負担を残さないように、事業費の精査や効率的な事業の執行などにより、市債残高の抑制に努めます。

※計数ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります



# 令和6年度予算を解説!

4月から市がお金をどのように使うかをまとめた、令和6年度予算が完成しました。この特集では、予算のポイントや具体的な取り組みの一部を紹介。これからの1年間、どのようにまちづくりを進めていくのかを見ていきます。

詳細 財政課 ☎211-2212

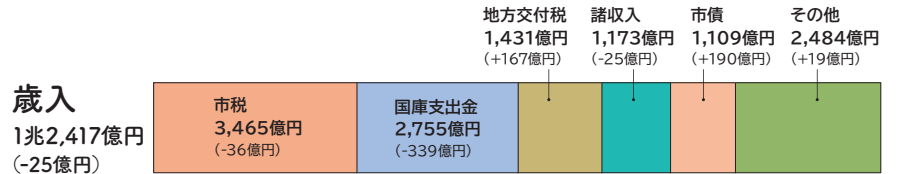
## 予算の種類

予算とは、市の1年間の収入(歳入)と支出(歳出)の計画を示すもの。市では、予算を3種類に分けて管理しています。

- 一般会計** 1兆2,417億円
  - 福祉や教育など、基本的な事業を管理する会計
- 特別会計** 3,966億円
  - 国民健康保険や介護保険など、一般会計とは区別が必要な事業の会計
- 企業会計** 2,927億円
  - 地下鉄や水道など、料金収入で運営している事業の会計

## 一般会計の歳入・歳出の内訳

※歳入・歳出共に、( )内は前年度比。計数ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります



- 前年度比
- 新型コロナウイルス関連事業の減少などにより、国庫支出金が339億円減少
  - 定額減税による個人市民税の減額などにより、市税が36億円減少 など

## 歳出



- 前年度比
- 新型コロナウイルス関連経費の減少などにより、保健福祉費が344億円減少
  - 学校施設の新築・改築費の増加などにより、教育費が92億円増加 など

本年度の予算は前年度予算に当たる補正予算と一体的に編成した16カ月予算のため、左ページからは補正予算の金額も含めて記載しています。

## 安全・安心なまちづくり

### 野生動物による被害を防ぐ

#### 市街地へのヒグマの侵入対策を強化

拡充

3,100万円

人が生活する地域とヒグマの生息域を区別するために草刈り活動への支援を強化するほか、ドローンを活用したヒグマの調査などを行います。



### 雪への対策

#### 適切に対応できる除排雪体制の維持

275億6,400万円

道路や気象の状況に合わせた除排雪を実施。また、持続可能な雪対策に向け、1人乗り可能な除雪車の確保や、新たな融雪施設の整備などによる省力化・効率化を進めます。



### 災害に備える

#### 災害時に必要な物資を備蓄

拡充

1億7,400万円

寒さ対策としてストーブや毛布を追加で確保するほか、新たに液体歯磨きやお尻拭きシートなどを備蓄。避難所で生活環境を向上させます。



#### 土砂災害などへの対策を強化

新規

8,900万円

効率的に土砂を除去し、救助活動を行うための資材や機材、二次災害防止用の監視システムを導入。また、消防学校内に土砂災害を想定した訓練施設を整備し、災害発生時に被害を軽減できるようにします。



### 安心して暮らせるより魅力ある街へ

市では、誰もが生涯健康で活躍でき、魅力や活力があふれる社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを進めています。私たちが暮らしやすい街を一緒につくっていきましょう。

## 市民生活を支える

### 物価高騰への対策

#### 学校給食費の値上げを抑制

補正予算

9億3,200万円

食材費の高騰影響分を公費で負担し、保護者の負担額を据え置きます。

#### プレミアム商品券の発行

補正予算

23億500万円

詳細は10ページで紹介しています。

## ウェルネス（健康）、ユニバーサル（共生）

### 健やかな生活を送るために

#### 健康的な行動を促進

拡充

3,100万円

民間企業や大学などと連携してイベントや情報発信を行い、働く世代など幅広く市民の健康意識を高め、健康的な行動を促します。



#### 認知症疾患医療センターの運営を開始

新規

1,500万円

認知症医療体制の中心的役割を担う医療機関を認知症疾患医療センターに指定し、運営費を補助。新薬を用いた最新医療を提供するほか、かかりつけ医と連携するなど、認知症の方やその家族が地域で安心して過ごせる環境づくりを進めます。

### 誰もが活躍する街へ

#### 障がいがあり働く方の知識や技術の習得を支援

新規

1,200万円

市内の企業で働く障がいのある方を対象に、ホームページの作成やプログラミングなど、ICTを活用する高度なスキルを得られる講座を開催。障がいのある方が活躍する場の拡大を目指します。



## 脱炭素、経済活性化

### 環境負荷の低減と経済成長の両立

#### GX<sup>\*</sup>に関する投資を呼び込む

1億8,300万円

新規

北海道が持つ再生可能エネルギーの潜在的な力を生かして、世界中からGXに関する資金・人材・情報が集まるアジア・世界の金融センターを実現し、札幌・北海道の経済を活性化するための取り組みを行います。

※グリーンTRANSフォーメーションの略。化石エネルギー中心の産業・社会構造から、クリーンエネルギー中心の構造に変え、経済成長につなげる取り組み



#### 脱炭素化を推進

1億100万円

拡充

市有施設への太陽光発電設備の設置に向けた準備を進めます。また、住宅の暖房・給湯機器のエネルギー源を灯油から電気・ガスに転換する費用や、事業者の太陽光発電導入にかかる費用を補助します。

